

特集企画 学長×学生の座談会

学びは未来をつくる

学生が語る、広島経済大学の「教育力」



発行所
広島経済大学
広島市安佐南区祇園
五丁目37番1号
郵便番号731-0192
電話番号(082)871-1000(代)
オプショナルサイト <https://www.hue.ac.jp/>

2・3面 教育と研究指導の現場
4面 学びと進路を徹底サポート
5面 学位記授与式/入学式
6面 随想/知の系譜



岡崎源乃丞さん
広島県信用農業協同組合連合会
経済学部2026年3月卒業・
山口県/岩国高校出身

石田優子学長

山下愛実さん
(株)愛媛朝日テレビ
メディアビジネス学部
2026年3月卒業・
広島県/広島観音高校出身

新田一希さん
(株)広島銀行
経営学部2026年3月卒業・
島根県/益田高校出身

少子化が進む現在、学生一人ひとりの力を総合的に引き出す大学の教育力は重要性を増しています。広島経済大学では、実践的な学びを重視し、学生の成長を導く支援を展開してきました。今回、卒業を控えた3名の学生(取材2026年3月現在)に、本学での学びと成長について、石田優子学長が聞きました。

本学を選んだ理由

学長 いよいよ卒業ですね。4年間の学びを振り返って、いろいろ聞かせてもらえたらと思います。まずは、本学とそれぞれの学部を選んだ理由を聞かせてください。

山下 私はオーブンキャンプが決め手でした。テレビが好きでメディアを学べる大学をいくつか見ましたが、スタジオ設備が充実していてビックリ！業界出身の先生方もおられ、ここが一番「好きなことが実践的に学べる場所だ」と感じました。

新田 私は父がよく会社経営の話をしてくれたので、会社の仕組みに興味を持っていました。本学は企業との連携が多いと聞き、実際のビジネスに触れられようかと感じました。また、奨学

金(入学試験成績優秀をいだけたことも)ここを選んだ理由です。奨学金で留学したり、資格も取得できると思って。おかげでたくさん夢を叶えました。

専門知識が身につく経験

学長 大学での学びで、特に印象に残っていることは何ですか。

岡崎 金融を研究するゼミ活動の一環で、もみじ銀行との産学官金連携の地域創生支援プロジェクト「もみじ経済塾」に参加したことです。企業の方とグループワークで議論を交わしたり、アイデアを発表したりすることで、社会で経済学が現実に使われていることを実感できました。

新田 「人的資源管理論」の授業です。働き方改革やテレワークなど最新のニュースや事例を取り上げてくださるので、社会の仕組みが理解しやすく興味深かったです。ほかにも、本学には授業の構成や展開が上手な先生が多く、社会と学びが結びつくので興味が尽きませんでした。

山下 映像制作のゼミで取り組んだ、社会課題に向き合うドキュメンタリー制作です。企画から取材、撮影、編集まで全て自分たちで取り組みました。チームで議論したり、先生のアドバイスを受けたりしながら作品に向き合い続け、ひとつの



作品を完成させた達成感忘れられません。さらに、その作品が外部のコンテストで特別賞に選ばれ、良かったです。たくさん思いいただきました。多くの反響もいただき、伝える表現を学びました。

ゼミでの研究や発表が成長を促す

学長 ゼミも本学は力を入れていますからね。他の皆さんはいかがでしょう。ゼミでの学びはどのように成長につながりましたか。

新田 経営学に関する書籍を輪読し、その内容を発表資料にまとめる練習の繰り返しで、活字を読む習慣と、自分の言葉に置き換えてアウトプットする力が身につきました。1年間やり遂げたとき、本当の意味で経営学の知識を自分のものになったと感じました。

岡崎 卒業論文は成長につながったと思います。書き上げた時、達成感がありました。考える力や調べる内容の正確さ、そしてひとつのことに対して考えを広げて終着点を見つめることができるようになったと思います。社会課題についての視野も広がりました。

学びを深める教員の指導力

学長 卒業論文や卒業制作も全員必修です。学びの集大成ですから、大変だった

でしょう。先生はどのような指導してくれましたか。

岡崎 卒論テーマで悩んでいた時、問いの立て方から一緒に整理していただきました。先行研究も紹介していただき、研究の方向性が明確になりました。

新田 卒論指導で何度もホワイトボードを使って教えていただきました。私が論文に書いた引用データや専門用語について、きちんと自分の言葉で説明できるか、人に伝わる論理的な記述ができているかなどの指摘に、話の流れや言葉にも適材適所があるのだと気付くことができました。

充実の学生支援が学びをサポート

学長 学習支援、国際化やキャリア支援など、本学の学生支援はどのようでしたか。

新田 カナダ留学では経済的支援を含め、お世話になりました。また、本学では留学生と学内で気軽に交流できます。学生は踏み出す勇氣さえあれば、波に乗れる。そんな環境が整えられています。それから、授業の補習や資格の勉強などの学習支援もありました。

山下 キャリアセンターをよく利用しました。就職活動が上手くいかない時期も、職員の方は常に励ましてくれて、次の会社を紹介してくれました。大丈夫



よのひと言に支えられました。

岡崎 学友会会長を務めた時、どの部署の職員の方も学友会に協力的で、多くの機会をくださったことに感謝の気持ちでいっぱいでした。大学は「入ることより4年間の中身が大事だ」と思います。組織をまとめること、意見の違う相手にもきちんと意見を伝えること、笑顔を見せないことなど、大事なことをたくさん学びました。

学びが未来につながる

学長 進路についても聞かせてください。

岡崎 私はJ.A.広島信連に就職します。地域の生活や経済を支える仕事で、ゼミで学んだ金融の知識が役に立つと感じています。人とのつながりを大切に、社会との連携を通じて、恩返しをしていきたいです。

新田 私は地域の銀行です。簿記や宅建建物取引士といった在学中に取得した資格はもちろん卒業論文で取り組んだ人的資本経営の研究で得た知見は、働くうえで必ず役に立つと思います。将来的には、広島市の都市開発といった地域創生に金融の面から携わりたいです。

山下 私は念願だったテレビ局で番組制作に携わりました。大学で学んだ4年間の学びが、現場で発揮されています。情報発信する側として、

いう自覚と責任を持って、地域の方々を知りたいと思うことを見極め、丁寧かつ間違いない報道制作をしていきたいです。

学長 本学の教育力が皆さんの成長を促し、それぞれの未来につながったと聞いて嬉しいです。最後に、後輩へメッセージをお願いします。

山下 いろいろなことに挑戦できる大学です。理論と実践がしっかり身につけられる場所なので、この大学でやりたいことを見つけて、どんどん挑戦し、将来に近づけてほしいと思います。

岡崎 経済学の学びは実社会に直接リンクします。学生のうちから社会の方々と交流する機会が多いのも本学の魅力です。皆さんもやりたいことを見つけたら、ぜひ挑戦してみてください。

新田 本学には、学生の多様性を尊重し挑戦を促している組織文化や制度があります。学生に積極的に関わってレベルを引き上げてくれる教職員の方々など、「人を育てる組織」に必要な要素が揃っています。これは卒業研究で得た私の結論です。4年間は本当にあつという間なので、多くの人と関わる機会を大事にしてください。

学長 新田さんの卒業研究でも、本学の教育力が裏付けられました。皆さんの言葉には4年間での成長と自信が感じられます。卒業、おめでとう。これからの人生が素晴らしいものであることを、教職員一同心から願っています。

本学では、学生が仲間とともに切磋琢磨して、今を生き抜くゆるぎない力を身につけることを願っています。これからも多様な学びと経験の機会を用意していきます。

教育と研究指導の現場

教員が語る

教育と研究の 鬼末力

社会課題に
取り組む醍醐味



社会のあり方や価値観が多様化する今、地域が抱えるさまざまな課題を解決する力やスキルが求められています。本学の教育や研究は、そうした社会課題にどう結びついているのか。各学科の特色や学びと社会課題とのつながり、研究指導のこだわりについて担当教員に聞きました。



経済学部

これまでの経済学に加えて、心理学を取り入れた「行動経済学」、お金の流れを理解する「金融教育」、地域を動かす「まちづくり」を柱に、社会で使える知識と自ら考える力を育てる実践型のカリキュラムが特色です。

経済学科

加藤博和准教授



学科の学びと
社会課題とのつながりは?

私が担当する「実践広島まちづくり」は、中四国地方最大の都市・広島がフィールドです。広島は開発が進む一方、人口減少などの社会課題も抱えています。地域から学ぶ体験型の授業で、現場を見て、議論し、課題解決に向けた提案を行います。

学科最新 NEWS

- 広島のまちに飛び出す、体験型授業「実践広島まちづくり」を新設! 学生のアイデアで広島の未来をデザイン
- 「経済学×心理学」で読み解く「行動経済学」を新設! 学ぶだけで終わらない、思わず使いたくなるおもしろい経済学を体験



研究指導のこだわりは?
学生が自分で問いを立て、地域の実態に根ざした調査と多角的な分析を通じて得た研究成果を社会に還元できるよう指導しています。インターネットで容易に情報を収集できる現代だからこそ、自ら地域に出かけて行って「生きた経済」に触れるフィールドワークを取り入れ、リアルな学びを大切にしています。

経営学部

企業活動を研究対象とする経営学を実践的に学べます。「産学連携」に力を入れ、地元食品メーカーと連携したお好み焼き店支援策の考案、IT系ベンチャー企業の最先端技術を活用したプロモーション等のマーケティング研究など、実社会に根ざす学びを展開しています。

経営学科

研究指導のこだわりは?
学生一人ひとりの性格や率直な意見を大切にしています。そのうえで、グループ研究を中心に、一歩だけ難しい課題に挑戦してもらい、着実な成長を促しています。

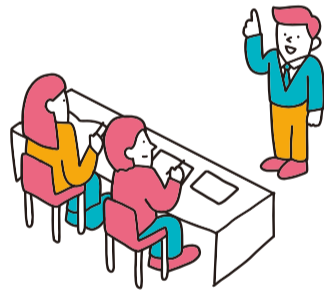
実際のゼミをのぞいてみよう! 3面をCHECK!

学科の学びと
社会課題とのつながりは?

私が担当する「マーケティング論」では、企業や地域が抱える課題を題材に、顧客や社会に新たな価値を生み出す仕組みについて考えていきます。



兎内祥子 助教



学科最新 NEWS

- 地元農産物×お好み焼きで地域創生に挑む産官学プロジェクト始動
- 会計分野でも産学連携による実践的な学びを強化

メディアビジネス学部

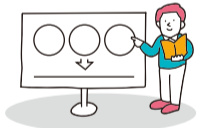
学科の学びと
社会課題とのつながりは?
私が担当するAIやデータサイエンス系科目では、生成AIなどの最先端のAI技術を基礎から学び、AI時代に必要不可欠なデータ活用力を育みます。

ビジネス情報学科

デジタルマーケティングやAI活用など、「ビジネス」と「情報」が融合する領域の科目を開講しています。単にソフトウェアやコンピュータの操作や原理を学ぶだけでなく、データや情報技術を地域や企業の課題解決に活かす「構想力」を身につけられます。

研究指導のこだわりは?
身近な課題から問いを見出し、AIやデータサイエンスの手法を活用し、問題解決へ発展できるよう支援しています。プレゼン力の育成も重視しています。

石野亜耶 准教授



学科最新 NEWS

- 実社会での活用を想定して科目をリニューアル! 実践形式で身につくデータサイエンスとAIの知識



学科の学びと
社会課題とのつながりは?

私が担当する「スポーツ経営学」や「スポーツ施設マネジメント」などの科目において、一般組織とは異なるスポーツ独自のマネジメントを、社会経済との連携や価値向上の観点から、理論と実践の両輪で専門性を深めています。



渡辺泰弘 准教授

スポーツ経営学科

スポーツ王国と称される広島で、数々のトップスポーツや地域スポーツの組織と連携をし、座学の知識をベースに、最先端の実践的な学びを展開しています。「成長産業」であるスポーツビジネス界にますます必要となる人材を育成しています。

実際のゼミをのぞいてみよう! 3面をCHECK!

研究指導のこだわりは?
実際のスポーツ現場に出向くことを推奨しています。例えばフィールドワークを通じて得られた知見を、学外で発表することで、実践的にも学術的にも活躍できる学生の育成を目標としています。



学科最新 NEWS

- スタジアムやアリーナの運営に特化した最先端科目を新設するなど、プロスポーツの現場に即したリアルな授業を続々開講!

テレビ局や広告業界など「プロの現場」を知る実務家教員が多く在籍しています。放送局仕様のスタジオやラジオブースを活用した実践的な学びを通じ、変化の激しいメディアビジネスの今を多角的に捉える力を養います。

学科の学びと
社会課題とのつながりは?

私が担当する「映像制作基礎・応用」では、学生自らカメラを回しドキュメンタリーを制作。地域の社会課題を自分事として捉え、発信する力を磨きます。

学科最新 NEWS

- 学内のスタジオ設備が2026年夏リニューアル!
- テレビやラジオ、デジタル配信等といったメディア産業のビジネスモデルを現場視点のアプローチで学ぶ実践的科目を新設!

メディアビジネス学科



研究指導のこだわりは?
大学を飛び出し、現場での取材を通じた「出会い」を大切にしています。多様な価値観に触れ、相手に寄り添う経験が、人として大きな成長につながります。

山田哲敬 教授



教育と研究指導の現場

教育が導く 学生の成長と 社会への還元

学生活動



研究



社会貢献



卒業後、即戦力として社会に貢献できるようになるためには、現場を意識した実践的な教育が不可欠です。そのため、本学では、企業と共同で研究活動をする機会を積極的に設けています。そのメリットはどこにあるのか。その経験は学生たちの成長にどう結びつくのか。ゼミの学生、指導教員、企業側それぞれの視点で語ってもらいました。

経営学科

兔内ゼミ



かがやく“笑顔”のために
森永乳業

森永乳業製品「森永アロエヨーグルト」の広島における若年層へのシェア拡大をテーマに、マーケティングプランの発表会を開催しました。学生たちが4チームに分かれ、市場環境の分析やSWOT分析、4P分析などを行い、「購買意欲を高める当たり付きキャンペーン」「推し活文化を連動したプロモーション戦略」などの企画を考案し、森永乳業の担当者にプレゼンさせていただき貴重な機会となりました。



印象に残る広告の見せ方を工夫することでワクワクする企画に

経営学科3年 新田 彰梧さん (広島県/広島国際学院高校出身)

若者がワクワクする当たり付きキャンペーンを考えるうえで意識したのは、“ファーストインパクト”をすることです。「どうやって目を引くか」という観点で、強い印象を残す広告や、手に取ってみたいくなる仕掛けを重視した企画をプレゼンし、森永乳業の担当者から高い評価をいただいたことはとても自信になりました。

指導教員 eyes

伝えることにこだわる姿勢を大切に

兔内 祥子助教

企業の課題に取り組む共同研究を通して、エリアマーケティングの理論と実践を往復しながら、学生が自ら考えて議論することで、社会で通用する視点を身につけることができます。特に企業への提案では、意図が伝わる資料作成に最後までこだわるよう指導しています。

企業 eyes

多様な視点とアイデアを取り入れる貴重な機会に

森永乳業(株)リレーション営業戦略部中四国支店駐在 重村 賢一郎様

限られた時間や制約があるなかで、アロエヨーグルト販売での課題、問題点をまず挙げて、それに対する提案をしていただきました。社内のマーケティング部門にはない多様な視点やアイデアもあり、率直な意見を聞いて非常に参考になりました。

スポーツ経営学科



広島を代表するプロスポーツの観戦者を調査対象とした研究成果を運営クラブに発表しました。広島ドラゴンフライズでは調査データをもとに多様なファン層の獲得に向けた提案を行い、サンフレッチェ広島レジーナでは選手も調査対象とし、若年層のファン獲得に向けた広報戦略を考案。どちらも担当者から高い評価をいただきました。今後もさまざまな地域のスポーツ組織と連携していきます。

クラブのリアルな事情に触れながら考えることで、自らの成長を実感

スポーツ経営学科3年 永岡 燈磨さん (広島県/三次高校出身)

現場でのアンケート調査を担当し、観戦者の生の声を聞いてデータとしてまとめる作業を丁寧に行いました。データをもとに観客目線で考え、「ファンに寄り添う提案」を意識して工夫を重ねた結果、より良い提案になったと思います。経営やマーケティングの実際の現場を知ることができ、とても貴重な経験になりました。



渡辺ゼミ

HIROSHIMA DRAGONFLIES

指導教員 eyes

“生きたデータ”を扱えることが何よりの魅力

渡辺 泰弘准教授

学生が普段扱うことのない“生きたデータ”を用いた分析を行うことができるメリットがあり、このデータをもとに戦略の提案など、より実践的に社会へ貢献できる人材育成が可能となるのが共同研究活動の魅力だと考えます。

企業 eyes

研究調査に対する積極的な姿勢が印象的でした

(株)広島ドラゴンフライズ 取締役 瀧本 剛士様

実際のアンケートデータに基づき、仮説を立てながら分析を進めている点が非常に興味深く、実務にも通じる姿勢だと感じました。また、与えられたテーマだけでなく、自らが疑問に感じた点を主体的に調査しようとする姿勢が印象的でした。



メディアビジネス学科

山田ゼミ



東京ビデオ
フェスティバル

映像コンテスト「東京ビデオフェスティバル2026 (TVF2026)」において、応募した3作品すべてが入賞 (TVF2026アワード選出) を果たし、山田ゼミとしては4年連続の入賞となりました。報道現場で豊富な経験を持つ教員の指導のもと、企画から編集までを自ら行い、広島の地から社会へ問いかける3つの物語を完成させ、全作品が選出されるという高いクオリティを示しました。



手話ダンスが魅力的に伝わるような映像づくりに尽力しました

メディアビジネス学科4年 藤田 杏花さん (山口県/防府商工高校出身)

「手話ダンスがくれた宝物 ～ここが、私たちの輝く場所～」というドキュメンタリー作品を制作しました。取材に協力いただいた方が手話を使うこともあり、安心してもらえるようコミュニケーションを徹底。練習風景をよく観察し、寄り引きのバランスを変えるなど画づくりを工夫するなどの試行錯誤を重ねていくことで「伝わる映像」に近づいたと実感しています。

指導教員 eyes

「見抜くセンス」の醸成を心がけて指導

山田 哲敬教授

学生たちには、社会をより良くするために価値のあるテーマを、自らの力で見つけ出すよう促しています。また、取材相手への挨拶やマナー、事前の段取りを徹底し、対話を通じて深い本音を引き出す「人として」大切な心がけを指導しています。

企業 eyes

地域の重みを次世代へつなぐ作品づくりを評価

東京ビデオフェスティバル 審査委員

地域の話題を丁寧に拾い上げた、とてもいい作品です。広島経済大学の皆さんは、広島という地域の重みを受け止め、次世代へつなぐ伝承者だと思います。

学修サポート

学修意欲を支援します

主体的な学びに対して、より学力向上を図るためのさまざまなサポートが充実しています。

1 わからないことを気軽に質問できる! ラーニングサポートコーナー

授業でわからないこと、レポートの書き方、もっと語学力を伸ばしたいなど、学びを支援するコーナーです。関連分野の教員や、資格保持者の先輩学生(SA: スチューデントアシスタント)が学生の学習相談に応じ、身近な立場から学びをサポートしています。毎年300件以上の相談件数があり、SA登録者は30名以上。SAで教える経験を積んだ学生が、教員免許を取得し、実際の教壇に立つ例もあります。

Point

学ぶ学生を経済的にも支援しています

資格を取得した学生に最大5万円の報奨金を支給することで、学びへのインセンティブを高め、資格取得を強く後押ししています。また、学業成績、人物共に優秀な学生に対して、毎年奨学金を支給しています。

DATA (2025年度実績)

資格・能力等表彰制度	計44人
・TOEIC700点以上	3人
・TOEIC600点以上	7人
・宅地建物取引士	6人
・ファイナンシャル・プランニング技能検定2級	7人
など	
●石田学園学業奨学金	22人

最新 NEWS

より上位の資格を目指す学生を支援するため、資格・能力等表彰制度を拡充!例えば、TOEIC800点以上取得で4万円、900点以上取得で5万円支給します。

2 学内で低価格で受講できる、各種資格取得講座

学内で一般価格より低価格で受講できる資格取得講座を多数開講し、資格取得を後押ししています。2025年度はファイナンシャル・プランニング技能検定2級講座やサーティファイWord2級、Excel2級など、15講座計53名が受講しました。オンライン講座もあります。

3 最短5年で修士号取得が可能! 学部との5年プログラム

学部4年次に大学院の科目を先取りすることで、最短5年で修士号取得が可能となる「学部との5年プログラム」や、3年間の在学中で卒業を認める「早期卒業制度」があり、経済的にも負担軽減となります。

Topics

学生生活もサポート!食を支え3100円朝食

物価高の中でも学生が安心して食事をとれるよう、価格を抑えるためのサポートをしています。特に、授業期間中、毎日提供される「100円朝食」は、学生に大人気!12年間続く取り組みで、朝食習慣の定着を促し、学修成果向上につながると好評です。



学びと進路

進路

徹底サポート!

あなたの学びを全力で応援!成長の4年間へ

希望の進路を実現させる手厚い就職支援

本学では学生一人ひとりに「オーダーメイド」の就職支援を行っています。その手厚い支援に裏付けされた就職実績は、外部メディアにもランキングされるなど高い評価を得ています。

1 一人ひとりの能力、個性に合わせた「オーダーメイド」の就職支援

キャリアセンター職員が毎年、3年次に学生全員との個別面談を実施し、個人の志望や適性に合わせた的確なアドバイスを随時行っています。ゼミ担当教員と密に連携し、面談を定期的に重ねて学生一人ひとりの進捗状況を100%把握しながらきめ細かいサポートを実現。進路が決まるまで伴走するなど、就職活動の準備段階から進路決定に至るまで責任を持ってサポートしています。

2 企業訪問で得た情報で、外部環境の変化にいち早く対応!

キャリアセンター職員が毎年、約1,000社の企業と面談し、「学生を取り巻く就職環境」「社会から求められる人材」「業界の動向」など幅広くヒアリング。社会の変化を敏感に察知し、学生に正確な情報を提供するとともに、企業と学生のスムーズなマッチングにつなげています。

3 低学年次を対象とした「キャリア形成支援」

「キャリアプランニング関係科目」「就職対策試験関係科目」「インターンシップ」などを正課の科目として開講。自己を理解し、社会的及び職業的に自立を図るために必要な能力を培うためのカリキュラムを用意しています。

2026年度 進路・就職支援プログラム

(2026年4月1日現在)

キャリアセンターが実施する、キャリア・就職活動に関わるプログラムです。

実施月	進路・就職支援プログラム	対象	実施月	進路・就職支援プログラム	対象
2026年					
4月	就職活動「準備」ガイダンス	3年次生	11月	(後期)第2回就職ガイダンス	3年次生
	(前期)3年ゼミキャリア個別面談	3年次生		(後期)業界・企業研究対策講座	3年次生
	公務員ガイダンス(講座説明)	1~3年次		公務員模試	1~3年次
5月	(前期)第1回就職ガイダンス	3年次生		(後期)SPI模擬テスト	3年次生
	(前期)履歴書・エントリーシート対策講座	3年次生		(後期)面接試験対策基礎講座	3年次生
	学内合同企業説明会	4年次生		一般常識模擬テスト	3年次生
	(前期)履歴書・エントリーシート用証明写真撮影会	3年次生	12月	(後期)第3回就職ガイダンス	3年次生
6月	(前期)第2回就職ガイダンス	3年次生	2027年		
	(前期)業界・企業研究対策講座	3年次生	1月	就職活動「直前」ガイダンス	3年次生
	(前期)SPI模擬テスト	3年次生		(後期)履歴書・エントリーシート用証明写真撮影会	3年次生
	(前期)面接試験対策基礎講座	3年次生	2月	学内合同企業セミナー	3年次生
7月	(前期)第3回就職ガイダンス	3年次生	3月	学内合同企業説明会	3年次生
	学内合同企業説明会	4年次生			
	卒業生による業界企業研究セミナー	1~3年次			
10月	(後期)第1回就職ガイダンス	3年次生			
	(後期)3年ゼミキャリア個別面談	3年次生			
	(後期)履歴書・エントリーシート対策講座	3年次生			
	公務員ガイダンス(職業紹介)	1~3年次			
	Uターン就職講座	1~3年次			



Topics

県外での就職活動を経済的に支援

都市圏や政令指定都市の企業・公務員の就職試験を受験する場合、公共交通機関の交通費を支援する制度(条件あり)があります。

◎2026年3月卒業・修了生 主な就職先

【建設業】清水建設(株)、住友林業(株)、積水ハウス(株)、セキスイハイム中四国(株)、タマホーム(株)、(株)ソルコム、(株)中電工【製造業】味日本(株)、今治造船(株)、(株)ウッドワン、(株)エフビコ、(株)川本製作所、菅公学生服(株)、キーコーヒー(株)、(株)北川鉄工所、(株)サタケ、大日本塗料(株)、大和冷機工業(株)、田中電機工業(株)、中国塗料(株)、ツネインホールディングス(株)、テラル(株)、東芝テック(株)、日本食研ホールディングス(株)、(株)日本製鋼所、早川ゴム(株)、広島アルミニウム工業(株)、(株)ヒロテック、プレス工業(株)、文化シャッター(株)、(株)マキタ、マツダ(株)、山崎製パン(株)、(株)やまみ、(株)LIXIL、(株)ワイテック【電気・ガス・熱供給・水道業】山口合同ガス(株)【情報通信業】(株)エネコム、(株)サンネット、(株)ドコモCS中国、(株)日立ソリューションズ西日本、(株)愛媛朝日テレビ、広島放送(株)、出雲ケーブルビジョン(株)、石見ケーブルビジョン(株)、(株)TSSプロダクション、ホームテレビ映像(株)、(株)マイナビ【運輸業、郵便業】西日本旅客鉄道(株)、広島高速交通(株)、福山通運(株)、マツダロジスティクス(株)、(株)ロジコムホールディングス、日本郵便(株)【卸売業】アイリスオーヤマ(株)、(株)あらた、キヤノンシステムアンドサポート(株)、国分西日本(株)、(株)セイエル、ティーエスアルフレッサ(株)、東邦ホールディングスグループ、(株)トーヨー、(株)鳥羽洋行、中村角(株)、西日本フード(株)、パナソニックリビング中四国・九州(株)、富士フィルムビジネスソリューションジャパン(株)、三菱重工冷熱(株)、八洲電機(株)、ユアサ商事(株)、渡辺パイプ(株)【小売業】青山商事(株)、(株)アンテルセン、(株)イズミ、(株)エティオン、(株)ジズン、(株)ツルハグループドラッグ&ファーマシー西日本、(株)ドン・キホーテ、(株)エトリ、(株)ハロー、(株)福屋、(株)フジ、(株)フレスタ、(株)ヤマダデンキ【金融業、保険業】三菱UFJ銀行、(株)山陰合同銀行、(株)中国銀行、(株)広島銀行、(株)愛媛銀行、(株)トマト銀行、(株)ゆうちょ銀行、愛媛信用金庫、呉信用金庫、広島信用金庫、広島県信用組合、広島市信用組合、中国労働金庫、いちよし証券(株)、東洋証券(株)、ひろぎん証券(株)、ひろぎんリース(株)、(株)ゆめカード、愛媛県信用農業協同組合連合会、広島県信用農業協同組合連合会、(株)かんぽ生命保険、住友生命保険(相)、日本生命保険(相)、明治安田生命保険(相)【不動産業、物品賃貸業】マツエース(株)、西尾レントオール(株)【専門サービス業】(株)長谷川会計事務所【生活関連サービス業、娯楽業】(株)星野リゾート、(株)エイチ・アイ・エス、名鉄観光サービス(株)、(株)シズオクト【医療業・保健衛生業】(独)国立病院機構中国四国グループ【社会保険、社会福祉、介護事業】日本年金機構【複合サービス業】広島県農業協同組合中央会、広島市農業協同組合【その他サービス業】(一社)日本自動車連盟、広島県商工会連合会【国家公務員】防衛省陸上自衛隊、防衛省海上自衛隊、防衛省航空自衛隊【地方公務員】広島市役所、萩市役所、浜田市役所、防府市役所、八幡浜市役所、警視庁、愛媛県警察、島根県警察、広島県警察(警察事務)、山口県警察、広島市消防局、宇部・山陽小野田消防局、鳥取県西部広域行政管理局消防局



※日程、会場等の変更になる場合がありますので、1か月前に配信する案内メールで必ず詳細を確認してください。

カナダから

グレゴリー氏&少女合唱団を迎えました♪

音楽と平和による異文化交流!



優子学長が在広島カナダ名誉領事であることから実現したものです。当日は、茶道部によるお点前体験、濱田敏彦教授による広島と厳島に関する講義、グレゴリー氏とカナダ少女合唱団による特別公演パフォーマンス、歓迎交流会など多彩なプログラムが行われました。特別公演と歓迎交流会には、地域の方々も招待。学生や教職員を合わせた約180名の来場者を、グレゴリー氏による演奏と少女合唱団の歌声で魅了しました。歓迎交流会でも、少女合唱団と本学学生の交流の輪から歌



VIVAの学生が英語で“平和の尊さ”について説明。真剣な面持ちで理解を深める様子が見られました。

声上がるなど、文化や言語の違いを超えて音楽が人々の心をつなぐ素晴らしい時間となりました。翌日の20日は、本学の異文化コミュニケーショングループ「VIVA(ビバ)」の学生が広島の名所を案内しました。広島平和記念資料館や平和記念公園では、原爆の被害と復興の歩みを伝える展示を見学。昼食に広島の食文化であるお好み焼きを楽しんだ後、宮島を一緒に探索し、自然と歴史が調和した文化的景観を体感するなど、言葉や文化の壁を越えて異文化交流を深める機会となりました。

1月

19日にカナダを代表する音楽家であり、アーティスト、教育者、司会者として国際的に活躍するグレゴリー・チャールズ氏と、同氏が指導する少女合唱団(College Vocal du Canada)総勢20名を本学に迎えました。この訪問は、音楽を通じた国際文化交流の促進と、若い世代による相互理解の深化を目的とし、石田



グレゴリー氏と少女合唱団が特別パフォーマンスを披露。素晴らしい音色に来場者が酔いしれました。



4月1日、本学石田記念体育館において、2026年度入学式を挙行政、入学定員を大きく上回る902名(経済学部306名、経営学部494名、

メディアビジネス学部89名、大学院生13名)を迎えた。多くのご家族やご来賓、教職員が祝福するなか、新入生は「ゼロから立ち上げる。興動人を目指して一歩を踏み出した。学部を代表して山川咲妃菜さん(スポーツ経営学科・愛媛県/川之江高校出身)と、大学院を代表して青木陸さんの2名が「学術の研鑽に専念し、世界の平和・繁栄に貢献し得る人物となるべく、努力をいたします」と力強く宣誓した。式典終了後にはゼミごとにオリエンテーションを実施し、新しい仲間や教員と交流を深めた。また、先輩学生がダンスや歌のパフォーマンスを披露し、会場は歓迎ムードに包まれた。



2026年度入学式挙行政



3月18日、上野学園ホールにおいて(広島市中区)2025年度学位記授与式を挙行政し、経済学部227名、経営学部335名、メディアビジネス学部111名、大学院10名に学位記を授与した。各学科及び大学院の代表が壇上に入り、石

田優子学長から学位記を受け取った。併せて教育職員免許状授与式を行い、免許状を授与した。続いて、学業成績が優秀で模範となった卒業生に学長賞と優秀賞を贈った。多くのご家族やご来賓、教職員が祝福するなか、卒業生は新たな門出を迎えた。



式典終了後には謝恩会が開催され卒業生は教職員や仲間との別れを惜しみながら、新たなステージへと巣立った。

2025年度学位記授与式挙行政

Pick up

興動館教育プログラムは20周年を迎えました。

「社会で活躍するためには人間力が必要である」という信念のもと、新たな教育プログラムを始動したのが2006年。このプログラムは、少人数双向向の実践型授業と、学生自ら問題解決に挑むプロジェクトの2本柱で成り立っています。これまで56件のプロジェクトが立ち上がり、その経験を糧に社会へ羽ばたいた学生は3,400名以上にのぼります。

卒業生対象 興動館開設20周年記念イベント開催!

日時:2026年7月4日(土)18時~20時
場所:リーガロイヤルホテル広島 ロイヤルホール

興動館プロジェクトの一つ「カンボジア国際交流プロジェクト」は、2月20日に開催された広島南ロータリークラブの定例会において、活動費用に対する寄付の目録を受けとった。本プロジェクトは、現地の協力機関であるコンポントム教員養成学校の要請を受けて、小学生向け「ごみ教育教材」の作成に取り組んでおり、この教材をカンボジア全土に普及させ、未来を担う子ども達に正しい知識を伝えることで、衛生・環境問題の将来的な解決を目指している。

広島南ロータリークラブからは、これまで10年以上にわたり文房具のご支援を受けており、カンボジアでの活動に役立ててきた。今年度は活動趣旨にご賛同いただき、支援金をいただいたことで、教材データ制作費用の目標金額を達成することができた。

定例会に出席した河野小葉さん(メディアビジネス学科4年)は、「カンボジアでごみの知識と意

Topics

広島南ロータリークラブから寄付をいただきました

カンボジア国際交流プロジェクトが

識を高める機会を作りたいという私たちの思いは十分に伝えることができました。ご支援いただき完成した教材を次回の渡航で配布し、カンボジア全土に広げていきたいと思います。

Topics

2026年度新入生ゼミナーを実施

入学直後の4月4日、9日国立江田島青少年交流の家において、新入生ゼミナーを実施した。本ゼミナーは、新入生と教職員が1泊2日の共同生活を通して親睦を深め、信頼関係を築くことを目的としている。カッター研修やゼミ対抗運動会、学生と教職員が語り合う時間などのプログラムを行った。カッター研修ではゼミの仲間と協力し、全長9メートル、重さ1.5トンのカッターを漕ぎ、8人9脚競争、増殖リレー、ロープジャンプの3

種目を行い、ゼミの結束力を高めた。夜のゼミ活動でも、学生同士と教職員の交流を通して親睦を深めた。学生からは「いろいろな人と交流できてゼミの仲間が1気に深まった」「カッター研修や運動会でみんな協力して、いい思い出ができた」「最初は不安だったけど、友達もできて楽しい2日間だった」といった声が聞かれ、大学生活の円滑なスタートを後押しする行事となった。



